

審査	項目	方法	配点	評価項目	判断基準	配点
1次審査	非機能要件評価点	提出書類	500	業務実績（法人）	自治体に対する導入実績が何件あるか。（人口規模を問わない）	10
				内訳として人口10万人以上の実績が何件あるか。	10	
	機能要件評価点	家庭児童相談システムの機能性に対する評価		要求水準を満たしているか。	330	
	価格評価点	提案価格書		提案価格に対する評価	満点(150点)×（提案価格のうち最低価格／自己の提案価格）	150
2次審査	企画提案・提案技術評価点	企画提案書、プレゼンテーション、デモンストレーション及び質疑応答	500	本システム構築業務全体に対する提案方針	・本業務に対する理解度は高いか。 ・事務の効率化に向けた具体的な提案が示されているか。	50
				システム構築における基本的な考え方	・適切な対象範囲を捉えた上で、システムの全体像と構成が具体的に示されているか。 ・バックアップを行う仕組み及びデータ復旧について記載がされているか。 ・調達するハードウェアが適切かつ具体的に示されているか。	50
				プロジェクト管理	・プロジェクト管理手法について具体的に記載されているか。 ・本番稼働を迎えるためのスケジュールについて、具体的かつ実現性のある内容が記載されているか。 ・本市職員が実施すべき役割、作業項目について記載されているか。 ・ハードウェアのセットアップ、接続、動作確認について円滑に実施されるよう説明がされているか。 ・各作業段階の工程に対する成果物が具体的に記載されているか。	50
				システム設計・開発	・システムの設計・開発作業方法等について具体的に記載されているか。 ・本番稼働前の動作確認等テスト手法について具体的に記載されているか。	50
				システムの操作性	・入力操作や画面遷移の効率性について ・作業負荷軽減に寄与する機能について ・エラーチェックやガイド機能等による操作ミスの軽減について ・タブレット機能の操作性について	50
				データ移行	・データ移行を実施するための具体的な手法が記載されているか。 ・データ移行について、職員の負担が少ない提案内容となっているか。	40
				セキュリティ対策	・システム開発からシステム稼働後におけるセキュリティ要件について記載があるか。 ・個人情報の取扱いに関して、事故等が生じない具体的な対策が示されているか。 ・タブレット機能に係るセキュリティ対策は十分講じられているか。	40
				操作研修	・職員がシステムを利用して円滑に業務が行えるように、わかりやすいマニュアルの作成が予定されているか。 ・職員が新システムを利用して円滑に業務が行えるように、実効性のある職員研修が予定されているか。	30
				保守、運用支援及び障害対応	・システム安定稼働に向けた運用・保守体制が考慮されているか。 ・ハードウェア保守の内容が十分に記載されているか。 ・障害発生時の対応について、具体的に記載されているか。	50
				将来性及びその他有益な提案	・システム稼働後の法改正に伴うシステム改修については、基本的にシステムのバージョンアップで対応可能となっているか。 ・その他本市にとって有益な提案がなされているか。	50
				取組姿勢	・プレゼンテーション及びデモンストレーションにおける説明に説得力があり、積極的に取組む意欲が感じられるか。 ・質疑等に矛盾がなく、的確な回答ができているか。	40
			1,000			1,000